

令和元年司法試験 合格体験記

平成30年度修了（既修コース）岩田 杏子

岡山大学法務研究科 14 期既修の岩田杏子と申します。この度、令和元年の司法試験に合格することができました。この場をお借りして、先生方、資料室や教務担当の皆様、支えてくださった全ての方に心より感謝申し上げます。

以下、私の勉強面について綴りますが、勉強のスタイルは一人一人違うと思うので、参考程度に読んでいただけたらと思います。

まず、私は予備試験対策として、5 月までは短答を集中的に勉強し、6 月以降は論文中心の勉強をするという風に、自分の中である程度メリハリを付けて学習するようにしていました。そうすることで、8 月からの夏休みを、一通り全範囲の基礎に目を通した状態で迎えられるので、司法試験論文の過去問や旧試験といった難問にじっくり腰を据えて時間を割くことができます。短答に関しては過去問集と TKC の周回を繰り返していました。短答も論文も自分の引き出しを多くするべく、模試等を上手に活用して、できる限り多くの問題に触れておくのが良いと思います。

失敗談ですが、入学したての頃、授業に予習不足のためついていけないことが多々あり、当該科目については本番に至るまで苦手意識を克服することができませんでした。それは本番の結果にもはっきりと表れていますので、これから授業に臨む皆さまには予習復習は疎かにしないで頂きたいです。

また、直前期には論文の勉強にかかりきりになってしまい、短答知識の確認が不十分なまま本番を迎えてしまいました。最後の最後に焦らないためにも、短答の勉強を 1 日のサイクルに組み込んだスケジュールを早めに作っておくと良いと思います。

岡山大学法務研究科では、疑問が湧いた時に質問すると、先生方はとても丁寧に答えてくださります。何より、毎日机に向かう友人の姿を見て自分自身を見つめ直す機会を得られたことが、私が法務研究科に入学して良かったと思える最大のポイントです。

岡山大学法務研究科は司法試験を合格するために学習面、生活面両方において全力でバックアップして下さります。この恵まれた環境を生かすも殺すも自分次第です。私自身、自分に甘かったなと後悔することが沢山あります。皆さまには、司法試験を受け終わった後に後悔しないよう、1 日 1 日を全力で過ごしてもらいたいと思います。応援しています。